

学校だより 1月号

2019年 1月 8日

校長 山本 一臣

山手小学校ホームページ：「佐世保市立山手小学校」で検索するとご覧いただけます。



2019年（平成31年）のスタート

いよいよ新しい年が始まりました。平成31年ですが、5月1日からは新しい元号に変わるということです。

さて、今日から後期の後半が始まりましたが、全校朝会では正月の「正」という文字から目標を立てることについて話をしました。

「正月」の「正」という字は、「一」と「止」に分けられます。「一」は、目標を表します。

また、「止」は、足を意味します。したがって、「正」という字には、「目標に向かって足を踏み出し歩いていく」という意味があります。「正月」とは、まさにそういう月なのです。「正月」という言葉一つから、日本人の心のあり方を読み取ることができます。子どもたちには、新たな年を迎え、希望をもってスタートしてほしいという願いから、「新年のちかい」を考えるようお願いしました。聞いてみると、すでに目標を立てている子どもたちもいました。正月に、ご家庭の方でそうした事についての話をされたものだと思います。

また、私たちは、お正月に365枚の袋をもらうそうです。子どもたちには、その一袋一袋にすばらしい思い出をいっぱい詰めてほしいと思います。また、山手小学校にも、365枚の袋がもらえるのだと思います。その袋に、一人ひとりの子どもの成長の姿をいっぱい詰め込みたいものです。そのためにも、保護者や地域の皆様のご支援・ご協力が不可欠です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



第10回下村 脩ジュニア科学賞サセガ

12月16日に、下村脩ジュニア科学賞の表彰式が行われました。今年で10回目になります。ご存じのとおり、この賞は昨年10月に亡くなられた本県佐世保出身のノーベル賞科学者、下村 脩博士の業績をたたえ、佐世保からも世界的な科学者を育てたいとの思いから設けられたものです。

今年は、教育長賞を6年2組の土橋亮二くん、奨励賞を2年1組の十時啓暢くんがそれぞれ受賞しました。5000を超える作品の

中からの受賞でした。研究の成果が高く評価されたものです。

講評の中で、「受賞した皆さんは科学者の卵です。これからも、そうした科学する眼を大切にしてください。」と話されていました。また、来年のジュニア科学賞はもうすでに始まっており、不思議に思うことや調べてみたいことについて少しずつ考えていってほしいとのことでした。子どもたちは、私たち大人が忘れてしまった感性を持っています。この山手小学校からも世界的な科学者が育っていくことでしょう。なぜなら、無限の可能性を秘めた子どもたちですから。



年末のPTAもちつき

- 1 日（火） 元日、少年の日
- 8 日（火） 後期後半始業日・集団下校
- 10 日（木） 福祉体験学習（4 年）
- 11 日（金） 市図工作品展・ふれあい作品展
（～14 日：島瀬美術センター）
桜の聖母幼稚園との交流（1 年）

1 月 行事予定

- 14 日（月） 祝・成人の日
- 15 日（火） 児童集会・授業参観・懇談会（低）
- 17 日（木） 授業参観・懇談会（4・5 年）
- 19 日（土） 食育の日
- 20 日（日） 家庭の日
- 21 日（月） 清水中入学説明会
- 22 日（火） 祇園中入学説明会
- 24 日（木） 桜の聖母幼稚園との交流（5 年）
ふるさと体験学習（4 年）
- 30 日（水） 3 年生クラブ見学
- 31 日（木） 新1 年生入学説明会

<「感謝」の3つの良くなる効果>

- ① 関係が良くなる
- ② 人相が良くなる
- ③ 運が良くなる

アドラー心理学より

<山手小学校一校一徳運動>

気持ちの良いあいさつ
ワンストップあいさつ